

第1回 定例会

予算審査特別委員会審査報告

一般会計など全予算を“可決”

本定例会では、第1及び第2予算審査特別委員会を設置し、3月12日から16日まで各委員会を開催し、令和8年度一般会計1件、特別会計4件及び事業会計2件の予算について審査を行いました。

ガバメントハンター

問 ガバメントハンターについて、考え方を伺う。

答 市職員のうち2名が狩猟免許のわな猟免許を取得し、箱わなによる捕獲に対応できるよう体制を整備しています。また、地元の猟友会から推薦をいただいた15名の方を鳥獣被害対策実施隊に任命し、ヒグマ対応に従事していただいています。令和8年度についても、現状の体制を維持していくことで猟友会と調整を進めています。

B & G海洋センター

問 B & G海洋センターの児童送迎バス運行に関する安全対策について伺う。

答 児童送迎バス実証事業は、市内小学校とB & G海洋センターを結ぶバスを運行し、児童が当該施設を気軽に利用できる環境を整えるものです。市内6校を2校ずつ3つのグループに分け、毎月1回バスを運行します。安全対策については、職員がバスに同乗し、児童全員が安全に帰宅できるように名簿を整え、発着場所で確実に確認ができる体制を取る予定です。



生活道路舗装補修事業

問 生活道路舗装補修事業の拡大について、予定している補修箇所・優先順位について伺う。

答 現時点では具体的な補修箇所は決まっていますが、例として江部乙地区の交通量の多い東1線や南西3線、東第1授業場通り線などの舗装を想定しています。優先順位については、道路パトロールを行った上で、交通量が多く事故のリスクが高い幹線道路を優先し、交通量が少ない道路でも危険な損傷箇所は予算内で順次補修していく予定です。

滝深線代替交通

問 江部乙北部の代替交通について、これまで利用されていた方々への周知方法と運行要領について伺う。

答 周知方法としては、広報掲載及び住民説明会を2回程度予定しています。運行要領については、電話予約制で小さめの車両を使用し、既存のバス停を利用して運行します。運行区間は江部乙中央通から19丁目までを予定しています。ダイヤは、空知中央バス株式会社が運行する深滝線との接続を意識するとともに、滝川駅前までの買い物や通院に便利な時間帯を考慮し、設定する予定です。

軽度・中等度難聴児 補聴器購入費用等助成事業

問 軽度・中等度難聴児補聴器購入費用等助成事業の概要について伺う。

答 身体障害者手帳の交付対象にならない、両耳の聴力レベルが30デシベル以上の軽度・中等度難聴児を対象とした事業で、支給の可否については、市が定める医師の意見書に基づいて判断します。助成金額は、身体障害者手帳該当の方と同じ補聴器の助成基準に必要な金額を助成します。また、利用者負担については、原則として基準額の1割となりますが、非課税世帯の方については自己負担なしで対応していきたいと考えています。



訪問看護ステーション

問 訪問看護ステーションについて、具体的な内容を伺う。

答 4月から病院の病床数が199床となることに伴い、今後も地域包括ケア病棟を維持していくための施設基準の要件として、訪問看護ステーションの敷地内設置が必要となることから、これまでのみなし訪問看護から訪問看護ステーションに移行するものです。将来の人材育成も考えながら、正規職員3名、会計年度任用職員2名を配置する予定で、みなし訪問看護の担当職員を配置することを考えています。収入としては、みなし訪問看護と比較すると、医療保険で年間約360万円、介護保険で年間約80万円、合計で約440万円の収益増加が見込まれています。

下水道管の点検

問 下水道管の点検について、今後の計画を伺う。

答 5年間かけて約36キロメートル実施していきます。その他の管路については、管路の清掃時等に異常を発見した場合に、その都度対応していきたいと考えています。

医師や看護師の人数

問 前年度と比較した市立病院の医師、看護師の人数について伺う。

答 令和8年4月1日時点の見込みでは、医師が会計年度任用職員を含めて32名、看護師が221名となっており、令和7年4月1日と比較すると、医師が1名減、看護師が6名増と見込んでいます。医師が不足している診療科については引き続き補充を図っていく予定であり、看護師については充足していると認識しています。

国民健康保険税

問 国民健康保険税について、収納率向上のための新たな取り組みを伺う。

答 納税催告に対する工夫や納め忘れの周知を継続し、令和7年度から進めているSMS（ショートメッセージサービス）納税催告についてはさらに改良を図り、市民の皆さんがより分かりやすい催告を考えています。また、令和8年度中にクレジット納付が可能となるeL-QRを納付書に印字できるよう進めたいと考えています。引き続き、納税者の利便性の改善に努めていきます。

予算審査特別委員会 における各会派討論



◎新政会

歳入では、ふるさと納税に係る新たな返礼品の開発に対する支援をはじめ、引き続き関係団体、企業へのPRや、企業版ふるさと納税制度の活用にも注力していきたい。民生費では、増大する居宅介護に不安を抱く高齢者の対策も早急に考えていきたい。教育費では、滝川駅周辺地区再生整備事業の白紙撤回による文化連盟からの要望に真摯に向き合い、最大限の予算編成を行ったことに敬意を表する。文化活動の衰退を回避し、住民との丁寧な対話を求める。

病院事業会計では、安定した経営と適切な医療提供に向けて、引き続き医療関係者の確保を求める。また、滝川市立病院経営強化プランに基づく施策の推進にあたり、正当な残業手当の給付や有給休暇の付与などに配慮し、職員の高いモチベーションを維持できる勤務環境の醸成が不可欠であるとする。

◎市民ネットワーク

子育てと健康の拠点複合施設の整備や小学校給食費の公費負担など、子育て世帯の負担軽減につながる取り組みが盛り込まれている。今後は中学校も含めた支援のあり方が検討されることを期待する。滝川駅周辺地区再生整備については、旧マイルビルの解体に向けた取り組みが進む一方で、今後の整備方針については改めて検討が進められる段階にあり、将来像を示しながら慎重かつ着実に議論が進められることを求める。今後の

財政運営にあたっては、中長期的な財政見通しを踏まえた計画的な事業執行が重要であり、持続可能な財政運営のもとで市民サービスの維持向上が図られることを期待する。

本市は国民健康保険税率が道の基準より低いゆえに、不足分を繰り入れし税率を変えないという市民への配慮を評価する。収納率向上のための新たな取り組みの検討を進めるとともに、財源確保に向け引き続き尽力していきたい。公営住宅事業会計・下水道事業会計では、補修整備、点検を継続することで将来に向けた安心、安全な暮らしを確保していただきたい。

◎会派清新

民生費では、子どもたちの育つ環境づくりについて新規事業が行われることを評価する。より良い子育て環境を構築するため、学校や幼稚園との連携も検討していただきたい。教育費では、様々な事業を行うことを評価するとともに、いじめや不登校の早期発見、早期解決に注力され、不幸な事案が起きないように未然防止に尽力していきたい。

病院事業会計では、材料費や燃料費などのさらなる高騰も考えられるため、一層の経営努力により適切に対応されるよう望む。他の特別会計、事業会計では、保険料、利用料等の適切な受益者負担の徴収に取り組むとともに、物価高騰に適切に対応されるよう一層取り組んでいただきたい。

◎公明党

旧マイルビルの撤去について、巨額の解体工事費を投入する必要性を市民に理解していただくことが重要である。また、子育てと健康の拠点複合施設やB&G海洋センターの整備、給食費無償化等、重要施策の予算が盛り込まれている中、将来の安定的な財政運営に向けて、ふるさと納税の寄付金のさらなる獲得と、稼げる滝川市を目指すための仕掛け作りを期待する。

本市では人口減少による税収減や物価上昇による財政への影響が危惧されることから、税収確保策の検討と併せ、行財政改革による歳出抑制を進めていくことも重要と考える。

◎日本共産党

小学校の給食無償化を評価する。中学校についても、食材費高騰分の公費負担を継続し、子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組んでいただきたい。軽度・中等度の難聴児に対する補聴器購入費用の助成はもとより、日常生活に困難を抱えている難聴高齢者への支援策についても検討されたい。滝川駅周辺地区再生整備事業が白紙とされたが、病院事業会計の収支改善や長期的な財政見通しを考慮すると解体事業は延期が望ましいと考える。しかし、10年、20年と先延ばしにすることは好ましくなく、解体を可とする。今後の検討に当たっては、先見の明を持って100年の計として取り組んでいただきたい。